



United Nations
Educational, Scientific and
Cultural Organization



国連持続可能な開発のための 教育の10年 – 2014年以降に向けて –

アレグザンダー・ライヒト
ユネスコ、ESDセクションチーフ





United Nations
Educational, Scientific and
Cultural Organization



現状は？

- リオ+20:「国連持続可能な開発のための教育の10年以降も、持続可能な開発のための教育を促進することを決意し、・・・」
- ESDの存在感が国内外で高まった。
- 大きな課題:
 - 試験段階から政策へ
 - 小規模から大規模へ
 - 周縁から主流へ





United Nations
Educational, Scientific and
Cultural Organization



2つの戦略

- ESDを教育に取り入れる。
 - 「ESDは今日の教育に実際的な意味を持たせる」
- ESDを持続可能な開発に取り入れる。
 - 「持続可能な開発は、技術的な解決策だけでは実現できない」
- これら両方の課題、両方の「言語」、両方のステークホルダー・グループが必要とされる。
- これはまた、2014年のESD世界会議に向けた準備の指針となる。





United Nations
Educational, Scientific and
Cultural Organization



2014年以降のフレームワークに向けて なすべきこと

- 取り組みの規模拡大に重点を置く。
- あらゆるレベルや形態の教育を取り組みの対象とする。
- 幅広い連携をもたらす。
- 明確な目標を持つ。





United Nations
Educational, Scientific and
Cultural Organization

構成要素その1: 政策の前進

- 国際レベルにおけるESDの政策への取り入れ
 - 基盤とすべき成功は、リオ+20の成果文書におけるESDの記述など
 - 考えうる目標: ESDを持続可能な開発目標(SDG)へのプロセスや2015年以降の教育アジェンダに取り入れる





United Nations
Educational, Scientific and
Cultural Organization

構成要素その1: 政策の前進

- 国内レベルにおけるESDの政策への取り入れ
 - 基盤とすべき成功は、日本、中国、カナダ(マニトバ州)での事例など
 - 考えうる目標: ESDを教育や持続可能な開発(たとえば気候や生物多様性などに重点を置く)に関する国家政策に取り入れる





United Nations
Educational, Scientific and
Cultural Organization



構成要素その2: 実践レベルの向上

- 教育組織全体にわたるESDの取り入れ
 - 基盤とすべき成功は、ユネスコ・スクール(ASPネット)、インドの環境教育センター(CEE)など
 - 考えうる目標: ○カ国における○校の学校による関与を求める





United Nations
Educational, Scientific and
Cultural Organization



構成要素その2: 実践レベルの向上

- 個人の学習者への応援

- 基盤とすべき成功は、スウェーデンのオンライン教材「ヤング・マスター・プログラム」など
- 考えうる目標: あらゆる年齢層に向けて、オンラインで簡単にアクセスできるESDの学習機会をつくり出す





United Nations
Educational, Scientific and
Cultural Organization



構成要素その3: メカニズム(仕組み)の実行と支援

下記の分野においても、DESDの取り組みが行われ、成功している。

- 連携、及び多様なステークホルダー同士のネットワーク(特にローカルレベルで)
- 研究活動
- モニタリングと評価





United Nations
Educational, Scientific and
Cultural Organization

2014年以降 ~ 2015年以降

- 明確な目的を持った世界規模のプログラムがESDに取り組んでおり、さらに、
- 2015年以降の関連するプロセスにESDが取り入れられている。
- 2014年のESD世界会議が大きな後押しとなる。
- ESDは質の高い教育や、持続可能な開発の進展のための重要なパラダイムだとみなされている。





United Nations
Educational, Scientific and
Cultural Organization



ご清聴ありがとうございました！

a.leicht@unesco.org

